

赤い瓦葺き屋根の印象的なその館が
東区榎木町に移築・復元され
平成十七年早春
文化のみらの拠点施設として甦りました。

館内では、文化のみらの様々な情報を
提供するとともに
郷土ゆかりの文学資料や
貞奴・桃介に関する資料なども展示公開いたします。
また、貞奴が居間として使っていた和室など三室が
貸室としてご利用いただけます。

創建時から百年の歳月を経た今再び
様々な人たちが出逢い、交流し
新しい文化の芽生える場所にしていきたいと考えております。
大正浪漫の香り高いこの館で、しばし時を忘れ
どうぞごゆっくりお楽しみください。



文化のみち二葉館



Cultural Path Futaba Museum

名古屋市旧川上貞奴邸

- 開館時間 午前10時～午後5時
(貸室は午後8時30分まで使用可)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日
- 入場料 大人200円(団体160円) 定期観覧券 大人800円
文化のみち榎木館共通観覧券320円
※中学生以下は無料 ※団体は20名以上
※その他、各種減免があります。
- 貸室料(1室) 午前(10:00～13:00) 午後(13:30～16:30)
夜間(17:30～20:30) 各600円
- 駐車場使用料 1回300円(30分以内は無料)



- 交通のご案内
なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車
地下鉄桜通線「高島」下車、2番出口より北に徒歩10分
名鉄瀬戸線「肥後坂」下車、南に徒歩12分
市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
基幹バス2号「白鷺」下車、南に徒歩5分
*駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関
をご利用ください。

文化のみち二葉館

名古屋市旧川上貞奴邸

〒461-0014 名古屋市長区榎木町3丁目23番地
TEL/FAX 052-936-3836 E-mail sada@accio.co.jp
URL <https://www.futabakan.jp/>

※本館館内には全くの無音環境の対応を受けています。
*このサイトは、志願者が多く利用されることを目指しています。

名古屋城から徳川園にいたる、「文化のみち」。
ここは、江戸期には中・下級武士の屋敷が連なり
明治から昭和の初めにかけては
近代産業の担い手となる地産家、宗道家、ジャーナリストなど
様々な人が去来し、交流する舞台となった地域です。

「日本の女優第一号」として名をはせた
川上貞奴も、その一人でした。

女優を引退した後、大正九年頃から
電力王と呼ばれた福沢桃介とともに
文化のみちエリアの北端にあたる
名古屋市長区東二葉町に暮らしていました。

約二千坪の敷地に建つ和洋折衷の建物は
その斬新さと豪華さから「二葉御殿」と呼ばれ
政財界人や文化人の
サロンになっていたといえます。



川上貞奴

明治4(1871)年生まれ。16歳で芸者となり、23歳で書生演劇の川上晋二郎と結婚。川上一座のアメリカ公演で、女優として初めて舞台上立つ。ヨーロッパに渡り、明治33(1900)年のパリ万博でマダム貞奴の名は、一躍有名になる。晋二郎の死後、福沢桃介の事業パートナーとして、また自らも事業家として、「二葉書殿」で暮らした。



1階廊下



配電盤

■移築復元 1階廊下・大広間など
わが国初の住宅専門会社「あめりか屋」の設計したこの建物の復元にあたっては、できるだけ当時の材料(構造材やステンドグラスなど)・工法を用い、創建時の姿を再現しました。パネルや実際の復元部分の公開により、建物の由来や当時の建築技法などを紹介。大広間では、移築復元の記録映像を上映いたします。



1階展示室1

■ピカソも魅了した女優 川上貞奴 1階展示室1/一部大広間
展示室1では、貞奴の生涯を紹介するパネルとあわせて、主に女優として活躍していた頃の資料を展示します。

■郷土ゆかりの文学資料 2階展示室5,6,7,8
近代文学の祖こと、坪内逍遙をはじめ、樋口大祐(高木實)、小谷剛(芥川實)、江夏美好(田村俊子實)、春日井雄(遠空實)など名古屋を中心とする郷土ゆかりの文学者および文学作品を、資料やパネルで紹介します。
また、当地において盛んに展開されてきた同人誌活動をふりかえります。資料の一部は本欄に配架しており、手にとって自由に閲覧いただけます。



2階展示室

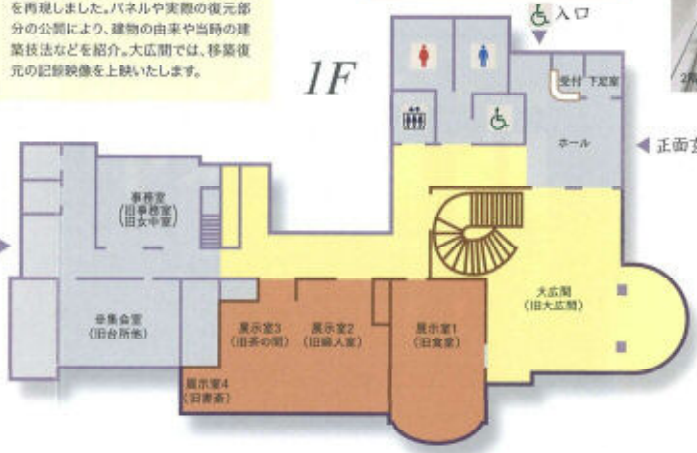


福沢桃介

明治元年(1868)生まれ。福沢諭吉の次女ふさの婿。名古屋電灯(株)の取締役となった頃から電力事業に乗り出し、大同電力(株)を設立。名古屋を拠点として、木曽川水系に大井発電所をはじめ7カ所の発電所建設。電力王といわれた。



「文化のみち二葉館」という愛称には、旧川上貞奴邸がかつて築二葉町にあり、「二葉書殿」という名で親しまれていたこと、また、新しい芽のふたばのように、文化のみちが成長していくという期待が込められています。



北側入口

正面玄関

※個室としてご利用いただけます。

■文化のみち発見 1階大広間
パネルやビデオなどで、文化のみちの附帯みや歴史などを紹介するとともに、文化のみちに関する各種施設の利用案内や催し物、関連団体の活動などの最新情報を発信。また企画展などを開催し、文化のみちの魅力をさらに発信する場としています。



1階大広間



1階展示室4

■当時の暮らし 1階展示室2,3,4
和室は創建当初のままであり、この部分は、国の文化財として登録されました。ここでは調度品などで当時の室内を再現し、貞奴愛用の品など生活の様子をご覧いただけます。



2階展示室5



中島利忠史